

公立小野町地方総合病院企業団 福島県小野町

[贈呈理由] 地域医療の拠点病院として安全性・省エネルギー性に優れた業務用エコキュートを導入



公立小野町地方総合病院

公立小野町地方総合病院は、1954年に福島県小野町周辺の5市町村の出資により開設された総合病院である。地域で不足している婦人科や小児科を有し、人工透析、訪問介護なども行い、中核病院として長く地域住民の医療を支えてきた。老朽化していた病院は東日本大震災で甚大な被害を受け、2015年3月に移転新築を行い、先進医療設備の導入や効率的な動線をプランニングしたことで、患者やスタッフの負担が少ない医療環境に配慮した施設となった。

操作性、利便性にも優れた業務用エコキュート

効率的な病院運営には、医療の質の確保と採算性の両立が求められる。公立小野町地方総合病院は「安全で使いやすく、快適な病院づくり」を目指し、安全で信頼性の高い電化システムを採用した。

給湯設備は、業務用エコキュートを採用したことにより、以前の燃焼式と比較し、運転調整作業が不要となり、操作性、メンテナンス性で大きく改善された。さらには、割安な夜間電力を使うことにより、ランニングコストの低減にもつながっている。厨房設備は、電化厨房を採用したことで、衛生的で快適な作業環境を維持しながら、患者ニーズにあわせた多様なメニューに対応している。また、維持管理が容易になり、トータルコストの低減が図られる。

地域医療の中核として、地域の安全・安心に貢献

公立小野町地方総合病院は地域の中核病院として、災害時にも医療提供機能が維持できるようBCP(事業継続計画)を策定し、1階ロビーはトリアージスペースとして、診療に必要な医療設備を整備した。今後も、患者の生活を守り、災害対応にも



業務用エコキュート

強く頼れる公立病院として、地域の安全・安心に貢献していく。

公立小野町地方総合病院

所在地: 福島県田村郡小野町大字小野新町字槻木内6-2
 建築設計: 佐藤工業・三橋設計JV
 建築施工: 佐藤工業(株)
 蓄熱設備設計: 佐藤工業・三橋設計JV
 蓄熱設備施工: 佐藤工業(株)
 延床面積: 8,530.51㎡
 竣工: 2014年12月(新設)

■蓄熱設備概要
 業務用エコキュート 65kW×2台[日本イトミック]
 貯湯槽: 10.8㎡